

取扱説明書

はじめに

このたびは、ワカサギ用電動リール『FAT FIN』をお買い上げ頂きありがとうございます。
ご使用前に必ず本文をお読みの上、正しくお使いください。

使用上のご注意 (必ず読んでください！！)

- ・『FAT FIN』は、ワカサギ釣り(淡水域限定)専用の電動リールです。他魚種釣りに使用しないでください。
- ・**本体、穂先の性質上必ず屋内(テント、屋形船など)で釣行して下さい。(凍結し故障の原因となります。)**
- ・電動リールおよび電池ボックスを直接雪上において使用しないで下さい。(水が浸入し故障の原因となります。)
- ・穂先取付け取外しの際、指を切らないようにして下さい。(指サックなどを使用すると安全快適に付け外し出来ます。)
- ・ご使用後は、本体の水分やウロコを拭取ってから20度前後の室内で自然乾燥してください。(サビおよび動作不具合を防ぐため)
- ・本機のお手入れの際、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないで下さい。(布で乾拭きでOKです。)
- ・各駆動部のメンテナンスは潤滑材を使用してください。(余分な潤滑材は、必ず綺麗に拭取って下さい。)
- ・**本体塗装はUV(紫外線)対応ではありません。お手入れ後は暗所(紫外線が当たらない場所)へ保管してください。(色あせ防止)**
- ・アルカリ単3乾電池を使用してください。(使用後は必ず乾電池を電池ボックスより取外してください。故障の原因となります。)

付属品の確認

- ・FAT FIN本体
- ・電池ボックス
- ・穂先S使用(1g~1.5g用) 各1個

準備するもの

- ・各駆動部用潤滑材
- ・単3アルカリ乾電池(1本)
- ・道糸(0.5号×25m標準巻取り量)
- ・糸止めスナップS以下(穂先ガイド内径φ3.0を通り、オートストッパーガイドφ1.0で止まるもの)
- ・オートストッパー用捨て糸(基本は道糸と同サイズ)
- ・仕掛け、オモリ、餌など

釣行前準備

- ①まず、電池ボックス内に単3アルカリ乾電池を1本入れます。
- ②次に①で用意した電池ボックスを本体に差し込みます。巻取りスプールに道糸を装着し、本体巻上スイッチを押しスプールに道糸を巻き取ります。(0.5号×25m標準巻取り量)
- ③スプール内道糸をオートストッパーガイド内に通して、糸止めスナップを結びつけます。(結び終わったら、本体巻上スイッチを押し、ストッパーで巻き取りが停止するか確認してください。この際、停止した後にストッパーが元に戻ろうとするので、電源が入ったり切れたりするのは、故障ではありません。)
- ④穂先を本体に取付けします。(安全を考えて指サックをしての脱着をお勧めします。)
- ⑤オートストッパー用の中間糸を準備し片方に糸止めスナップを結び付けます。反対側は8字結びを1つ作っておきます。(オートストッパーガイドから水面に届く位の長さの捨て糸が理想的長さです。)
- ⑥ ③のスナップに⑤で用意した糸の8字結びの方を引っ掛け、キッチリと止めます。
- ⑦中間糸を穂先ガイドに通し、先端部スナップに仕掛けを取り付ければ、準備完了です。

使ってみよう

すべての準備が終わったら、仕掛けを水中に垂らします。そして、本体下部に付いている引金状のレバー(クラッチ)を引きます。スプールからモーターが離れ、仕掛けが勢い良く落下していきます。ここで厄介なのが、仕掛けが着底すると同時にスプールが回り続け、道糸がグチャグチャに絡まってしまう現象(バックラッシュ)が起こる事です。この現象を防ぐために、1番初めの仕掛け投入時は、巻上スプールに軽く指を沿え、慎重に着底させます。着底したら指でスプールを数回転巻上してスプールに付いている棚取りストッパーに道糸を巻き付けます。これで2回目から仕掛けが着底しても、道糸が出続ける現象を防ぐことが出来ます。(※棚取り終了後、道糸を軽く手で引っ張り巻き癖を直すと、さらに快適に使用できます。)

棚取が終了したらレリーズレバーを押し込んでクラッチを元に戻します。
後は定期的に誘いを入れワカサギを釣ります(※この際巻上スプールを何れかの指でしっかり固定しアタリがあったらスグ竿を待ち上げ、アワセを行う)。ワカサギが釣れたら本体巻上スイッチボタンを押し回収します。最終的にオートストッパーで巻上が停止、ワカサギを取り外します。これで一連の流れが終了です。